
モニタリングサイト 1000 沿岸域調査 (アマモ場調査)

調査データの概要と利用上の注意点

(2023 年 10 月版)

目次

I. 利用上の注意点	1
II. データセットの概要	2
毎年調査	2
① 方形枠内の海草類の合計被度と海草別の被度及びそれに付随するデータ	2
5年毎調査	3
② 海草種毎のシュート数と乾燥重量及びそれに付随するデータ	4
③ 底質粒度とそれに付随するデータ	4
④ 海草押し葉標本に関するデータ	4
III. データファイルの種類とその概要	5
毎年調査	5
① 方形枠内の海草類の合計被度と海草別の被度及びそれに付随するデータ	5
5年毎調査	6
② 海草種毎のシュート数と乾燥重量及びそれに付随するデータ	6
③ 底質粒度とそれに付随するデータ	6
④ 海草押し葉標本に関するデータ	7
IV. データ項目の説明	8
毎年調査	8
① 方形枠内の海草類の合計被度と海草別の被度及びそれに付随するデータ	8
5年毎調査	11
② 海草種毎のシュート数と乾燥重量及びそれに付随するデータ	11
③ 底質粒度とそれに付随するデータ	13
④ 海草押し葉標本に関するデータ	15
V. 参考情報	18

I. 利用上の注意点

- 本文書にはモニタリングサイト 1000 沿岸域調査（アマモ場調査）で得られた調査データ（以下「データ」という）の概要と利用上の注意点が示されています。データをご利用される際には、必ず「本文書」及び「マニュアル」をお読み下さい。これらに書かれている注意点に同意できない場合は、データを利用することはできません。
- モニタリングサイト 1000 沿岸域調査（磯・干潟・アマモ場・藻場）では、絶滅危惧種や希少種に関わる情報や緯度経度等の詳細な位置情報を、一部保護情報として取り扱っており、データファイルにはこれらの保護情報は含まれていません。保護情報を含めたデータの利用を希望される場合には、環境省自然環境局生物多様性センター（巻末に連絡先を掲載）までお問い合わせ下さい。
- 調査はマニュアルに従って実施されています。ただし、モニタリングを効果的に実施するために、調査方法等が毎年検討されており、その検討結果を受けて、調査マニュアルの記載内容が変更されている場合があります。データのご利用に当たっては、調査報告書に掲載されている当該年度の調査マニュアルをご参照されるようお願いいたします。
- 本事業に関しては、環境省自然環境局生物多様性センターのモニタリングサイト 1000 ホームページ (<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>) をご参照下さい。
- 論文やプレゼンテーション等でデータを利用される際には、下記の例を参考にデータの出典を明記して下さい。

「xxx のデータについては、環境省モニタリングサイト 1000 プロジェクトによる (AMA**.zip、https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index_file_seagrassbeds.html、よりダウンロード) 。

“Data for XXX was provided by the Ministry of the Environment Monitoring Sites 1000 Project (AMA**.zip, downloaded from https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index_file_seagrassbeds.html).”

注：「**」にはダウンロードしたデータの番号をいれてください（01 等）。

- データに関するご質問は、環境省自然環境局生物多様性センターまでご連絡下さい。
- データは、予告なく随時、変更・修正されます。変更した場合は、ファイルのバージョン番号が変わりますのでご注意ください。
- 本注意点は、予告なく変更する場合があります。また、新たなデータファイルの公開に併せて項目追加等を更新します。

II. データセットの概要

毎年調査

調査の概要

- ・ 2009 年度から年 1 回調査を実施しています。
- ・ 調査時期は原則として 4 月から 9 月に設定されています。
- ・ 2008 年度は厚岸、大槌、富津、安芸灘生野島、石垣伊土名サイトで、試行的に別の方法で調査が実施されました。そのため、データファイルにはデータが含まれていません。
- ・ 指宿サイトは 2009 年度から調査を開始しました。
- ・ 2022 年度時点でアマモ場調査のサイト数は 6 サイトです。
- ・ 厚岸サイト及び大槌サイトにはそれぞれ 2 つのエリアが設定されています。
- ・ 各サイト及びエリアには 6~13 箇所の調査地点 (St.) が設定されています。
- ・ 調査地点は基本的に岸側から沖側に向かって設置されています。

① 方形枠内の海草類の合計被度と海草別の被度及びそれに付随するデータ

- ・ 各サイト及びエリアに設定された調査地点において、直径 20 m 程度の範囲内に 50 cm 四方の方形枠 20 個をランダムに配置し、出現した海草の種類と被度を記録しています。
- ・ 本調査で配置される方形枠は永久方形枠ではありません。
- ・ 調査方法の詳細については、各データが取得された調査報告書に掲載されているモニタリングマニュアルをご参照下さい。

(<https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/index.html>)

① 方形枠内の海草類の合計被度と海草別の被度及びそれに付随するデータ

「AMA01.zip」には以下の CSV ファイルが含まれています。

- ・ SBAKS_2009-2022_Annual_ver#.csv
- ・ SBFTU_2009-2022_Annual_ver#.csv
- ・ SBIBS_2009-2022_Annual_ver#.csv
- ・ SBIKN_2009-2022_Annual_ver#.csv
- ・ SBITN_2009-2022_Annual_ver#.csv
- ・ SBOTC_2009-2022_Annual_ver#.csv

5 年毎調査

調査の概要

- ・ 2010 年度から 5 年に 1 回の調査を実施しています。但し、感染症の流行等の影響により、2020 年度に予定していた調査は、2021 年度に延期して実施されました。
- ・ 調査時期は原則として 4 月から 9 月に設定されています。
- ・ 2010 年度、2015 年度、2021 年度には 6 サイトで調査が実施されました。
- ・ 厚岸サイトはアイニンカップエリア、大槌サイトは吉里吉里エリアで調査を実施しています。
- ・ 調査サイトに優占する海草種に応じて、調査帯を設定しています。

② 海草種毎のシュート数と乾燥重量及びそれに付随するデータ（海草バイオマス）

- ・ 各調査帯において、単位空間（直径 15 cm×地中 10 cm）内に生育する海草の地上部と地下部をあわせた試料を 1 サンプルとし、海草種ごとに乾燥重量、シュートタイプ（栄養株もしくは生殖株）、シュート数、草丈を記録しています。

③ 底質粒度とそれに付随するデータ（底質粒度）

- ・ 各調査帯の底質を採取し、篩法による粒径別の質量もしくは重量パーセントを記録しています。

④ 海草押し葉標本に関するデータ（押し葉標本）

- ・ 調査地のアマモ場で採集した海草の押し葉標本を作製し、その学名や同定者などを記録しています。
- ・ 調査方法の詳細については、各データが取得された調査報告書に掲載されているモニタリングマニュアルをご参照ください。

(<https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/reports/index.html>)

② 海草種毎のシュート数と乾燥重量及びそれに付随するデータ

「AMA02.zip」には以下の CSV ファイルが含まれています。

- SBAKS_biomass_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv
- SBFTU_biomass_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv
- SBIBS_biomass_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv
- SBIKN_biomass_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv
- SBITN_biomass_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv
- SBOTC_biomass_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv

③ 底質粒度とそれに付随するデータ

「AMA03.zip」には以下の CSV ファイルが含まれています。

- SBAKS_particlesize_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv
- SBFTU_particlesize_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv
- SBIBS_particlesize_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv
- SBIKN_particlesize_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv
- SBITN_particlesize_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv
- SBOTC_particlesize_2010-2021_Fiveyear_ver#.csv

④ 海草押し葉標本に関するデータ

「AMA04.zip」には以下の CSV ファイルが含まれています。

- SBAKS_specimen_2010-2021_Fiveyear_ver1.csv
- SBFTU_specimen_2010-2021_Fiveyear_ver1.csv
- SBIBS_specimen_2010-2021_Fiveyear_ver1.csv
- SBIKN_specimen_2010-2021_Fiveyear_ver1.csv
- SBITN_specimen_2010-2021_Fiveyear_ver1.csv
- SBOTC_specimen_2010-2021_Fiveyear_ver1.csv

III. データファイルの種類とその概要

毎年調査

① 方形枠内の海草類の合計被度と海草別の被度及びそれに付随するデータ

【SBxxx_2009-20xx_Annual_ver#】

- ファイルの名称は、「生態系コード (SB) ・サイトコード (xxx) _年度 (2009-20xx) _調査の種別 (Annual) _バージョン (ver#)」となっています。
- サイト毎に個別のファイルになっています。

毎年調査のデータ（調査日、海草種名、全体被度、優占種、緯度経度等）が格納されています。

サイトコード一覧

厚岸	AKS
大槌	OTC
富津	FTU
安芸灘生野島	IKN
指宿	IBS
石垣伊土名	ITN

5 年毎調査

② 海草種毎のシュート数と乾燥重量及びそれに付随するデータ

【SBxxx_biomass_2010-20xx_Fiveyear_ver#】

- ・ ファイルの名称は、「生態系コード (SB) ・サイトコード (xxx) _生物量 (biomass) _年度 (2010-20xx) _調査の種別 (Fiveyear) _バージョン (ver#) 」となっています。
- ・ サイト毎に個別のファイルになっています。
- ・ 定量調査のデータ (調査日、海草種名、シュートタイプ、シュート数、草丈、乾燥重量 (g) など) が格納されています。

サイトコード一覧

厚岸	AKS
大槌	OTC
富津	FTU
安芸灘生野島	IKN
指宿	IBS
石垣伊土名	ITN

③ 底質粒度とそれに付随するデータ

【SBxxx_particlesize_2010-20xx_Fiveyear_ver#】

- ・ ファイルの名称は、「生態系コード (SB) ・サイトコード (xxx) _粒度 (particlesize) _年度 (2010-20xx) _調査の種別 (Fiveyear) _バージョン (ver#) 」となっています。
- ・ サイト毎に個別のファイルになっています。
- ・ 各調査帯の底質粒度に関するデータ (調査日、調査帯、篩サイズ、重量 (g) 、重量パーセント (%) など) が格納されています。

サイトコード一覧

厚岸	AKS
大槌	OTC
富津	FTU
安芸灘生野島	IKN
指宿	IBS
石垣伊土名	ITN

④ 海草押し葉標本に関するデータ

【SBxxx_specimen_2010-20xx_Fiveyear_ver#】

- ファイルの名称は、「生態系コード (SB) ・サイトコード (xxx) _標本 (specimen) _年度 (2010-20xx) _調査の種別 (Fiveyear) _バージョン (ver#)」となっています。
- サイト毎に個別のファイルになっています。
- 海草の押し葉標本に関するデータ（採集日、海草種名、科名、同定者など）が格納されています。

サイトコード一覧

厚岸	AKS
大槌	OTC
富津	FTU
安芸灘生野島	IKN
指宿	IBS
石垣伊土名	ITN

IV. データ項目の説明

毎年調査

① 方形枠内の海草類の合計被度と海草別の被度及びそれに付随するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要（メタデータ）、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

- catalog_number : カタログ番号
 - ・ 収集品内のレコード別 ID
 - ・ [サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は A (Annual)
(例) AKSA0000001:厚岸サイト (AKS) の毎年調査 (A)
- investigator_id : 調査者番号
 - ・ 沿岸域調査 (アマモ場調査) 調査者データベース
(SeagrassbedsDataPackage_ResearcherDB) の番号と対応
- year_collected、start_year_collected、end_year_collected : 調査 (開始、終了) 年
 - ・ 4 桁の整数で表示
- month_collected、start_month_collected、end_month_collected : 調査 (開始、終了) 月
 - ・ 1~2 桁の整数で表示
 - ・ 一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
 - ・ 調査月 (month_collected) が明確でない場合は調査開始月の値で表示
- day_collected、start_day_collected、end_day_collected : 調査 (開始、終了) 日
 - ・ 1~2 桁の整数で表示
 - ・ 一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
 - ・ 調査日 (day_collected) が明確でない場合は調査開始日の値で表示
- time_of_day、start_time_of_day、end_time_of_day : 調査 (開始、終了) 時間
 - ・ 24 時間で表示
- time_zone : 標準時
 - ・ ±hh:mm で表示

- **area** : エリア
 - ・ 調査エリア名の略号を表示 (厚岸と大槌サイトのみ)
 - ・ 厚岸 (アイニンカップ = AIN、厚岸湖 = AKS) 、大槌 (吉里吉里 = KRK、根浜 = NHM)

- **station_number** : 調査地点番号
 - ・ 1~13 の整数で表示

- **quadrat_number** : 方形枠番号
 - ・ 1~20 の整数で表示

- **latitude** : 緯度、**longitude** : 経度
 - ・ 世界測地系 WGS84、10 進法、小数点以下第 4 位まで表示

- **scientific_name** : 学名、**japanese_name** : 和名
 - ・ ウミジグサ属及びウミヒルモ属は分類学的な整理が未確定ではありますが、本データは *Halophila ovalis* をウミヒルモ、*Halodule uninervis* をウミジグサ、*Halodule pinifolia* をマツバウミジグサとし、それぞれを単一種として取り扱っています。

- **coverage** : 種毎の被度 (%)
 - ・ 50 cm 四方の方形枠内に占める調査対象海草種の被度
 - ・ 5 % 単位で表示
 - ・ 5 % 未満の場合は "+" で表記
 - ・ 出現種が多く、各種の被度の計測が困難であった場合は存在を示すため "p" と表記

- **total_coverage** : 方形枠の全体被度 (%)
 - ・ 50 cm 四方の方形枠内に占める全海草種の被度
 - ・ 5 % 単位で表示
 - ・ 5 % 未満を示す "+" は数値として加算されていません。

- **dominant_species** : 方形枠の優占種名
 - ・ 方形枠内で優占する海草種の和名
 - ・ "なし" は優占する種が存在しないことを表示
 - ・ "混合優占" は優占する種が複数存在していることを表示

- **observed_benthos** : 確認された底生動物
 - ・ 方形枠内で確認された動物名や生活痕を表記
 - ・ 複数の種が含まれている場合があります。
 - ・ 個体数が記録されている場合もあります。

- **cdl_corrected_depth** : 最低水面 (CDL) からの補正水深 (m)
 - ・ 実測水深、調査時間、調査時の当該サイトの予測潮位、最寄りの検潮所の潮位偏差から算出
 - ・ CDL からの水深は陸側をプラス、海側をマイナスで表記
 - ・ 小数点以下第 1 位まで表示
 - ・ 一部サイトの 2009 年度調査では、算出方法が異なっているため (注) と付記

- **measured_depth** : 実測水深 (m)
 - ・ 基準面からの高さは陸側をプラス、海側をマイナスで表記
 - ・ 小数点以下第 1 位まで表示

- **substrate** : 底質 (基質)
 - ・ 見た目の底質
 - ・ 砂、泥、小礫等、景観としての底質を表示

- **remarks** : 調査 (地点) の備考
 - ・ 調査や調査地点に関する備考

- **remarks_on_quadrat** : 方形枠の備考
 - ・ 方形枠内で確認された海藻名 (被度)、海草の草丈や個体数などを表記

- **source** : レコードの出典
 - ・ データの出典元に関する情報
 - (例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域 (磯・干潟・アマモ場・藻場) 調査報告書

※データがない (欠測値、該当なし等) 場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない (未確定、異常値等) 場合は「na」とした。

5 年毎調査

② 海草種毎のシュート数と乾燥重量及びそれに付随するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要（メタデータ）、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

- catalog_number : カタログ番号
 - ・ 収集品内のレコード別 ID
 - ・ [サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は FB (Fiveyear_Biomass)
(例) AKSFB0000001: 厚岸サイト (AKS) の 5 年毎調査の生物量調査 (FB)
- investigator_id : 調査者番号
 - ・ 沿岸域調査 (アマモ場調査) 調査者データベース (SeagrassbedsDataPackage_ResearcherDB) の番号と対応
- year_collected、start_year_collected、end_year_collected : 調査 (開始、終了) 年
 - ・ 4 桁の整数で表示
- month_collected、start_month_collected、end_month_collected : 調査 (開始、終了) 月
 - ・ 1~2 桁の整数で表示
 - ・ 一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
 - ・ 調査月 (month_collected) が明確でない場合は調査開始月の値で表示
- day_collected、start_day_collected、end_day_collected : 調査 (開始、終了) 日
 - ・ 1~2 桁の整数で表示
 - ・ 一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
 - ・ 調査日 (day_collected) が明確でない場合は調査開始日の値で表示
- time_of_day、start_time_of_day、end_time_of_day : 調査 (開始、終了) 時間
 - ・ 24 時間で表示
- time_zone : 標準時
 - ・ ±hh:mm で表示
- area : エリア
 - ・ 調査エリア名の略号を表示 (厚岸と大槌サイトのみ)
 - ・ 厚岸 (アイニンカップ = AIN、厚岸湖 = AKS) 、大槌 (吉里吉里 = KRK、根浜 = NHM)

- station_number : 調査地点番号
 - ・ 1~13 の整数で表示

- core_number : コア番号
 - ・ 1~5 の整数で表示

- latitude : 緯度、longitude : 経度
 - ・ 世界測地系 WGS84、10 進法、小数点以下第 2 位まで表示

- scientific_name : 学名、japanese_name : 和名
 - ・ 「Biological Information System for Marine Life : BISMaL」の学名等を参照しています。
 - ・ 上位分類で同定を留めて表記している場合があります。
 - ・ ウミジグサ属及びウミヒルモ属は分類学的な整理が未確定ではあるが、本データは *Halophila ovalis* をウミヒルモ、*Halodule uninervis* をウミジグサ、*Halodule pinifolia* をマツバウミジグサとし、それぞれを単一種として取り扱っています。

- dry_weight_total : 乾燥重量 (合計) (g)
 - ・ 小数点以下第 2 位まで表示
 - ・ 15 cm 径のコアサンプラー (深さ 10 cm まで) で採集した海草を乾燥後に測定した重量

- dry_weight_above : 地上部の乾燥重量 (g)
 - ・ 小数点以下第 2 位まで表示
 - ・ 15 cm 径の正円形内に生育する海草を (地上部のみ) 刈り取り、乾燥後に測定した重量

- dry_weight_underground : 地下部の乾燥重量 (g)
 - ・ 小数点以下第 2 位まで表示
 - ・ 地上部の海草を刈り取った地点の底土を 15 cm 径のコアサンプラー (深さ 10 cm まで) にて底土ごと採集し、底土を落として海草の地下部のみを乾燥後に測定した重量

- dry_weight_fruit : 果実の乾燥重量 (g)
 - ・ 小数点以下第 2 位まで表示
 - ・ ウミショウブの果実部の乾燥重量

- shoot_type : シュートタイプ
 - ・ 生殖株または栄養株
 - ・ シュートタイプの定義は、環境省編「藻場の復元に関する配慮事項」の用語を使用

- total_number_of_shoot : シュート数
 - ・ 整数で表示

- ・ 15 cm 径の正円形内に生育していたシュートの数

● shoot_length : 草丈 (シュート長) (cm)

- ・ 整数で表示
- ・ 15 cm 径の正円形内に生育していた各シュートの草丈
- ・ シュート数が多い場合は、最大で 10 シュート程度

● vegetation_zone : 植生帯

- ・ 調査帯の植生

● water_depth_zone : 水深帯

- ・ 調査区の水深帯

● measured_depth : 実測水深 (m)

- ・ 基準面からの高さは陸側をプラス、海側をマイナスで表記
- ・ 少数点以下第 1 位まで表示

● remarks_on_identification : 同定の備考

- ・ 出現種の同定に関する備考

● remarks : 調査 (地点) の備考

- ・ 調査や調査地点に関する備考

● source : レコードの出典

- ・ データの出典元に関する情報

(例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域 (磯・干潟・アマモ場・藻場)
調査報告書

※データがない (欠測値、該当なし等) 場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない (未確定、異常値等) 場合は「na」とした。

③ 底質粒度とそれに付随するデータ

データ構造

- ・ 行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要 (メタデータ)、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

● catalog_number : カタログ番号

- ・ 収集品内のレコード別 ID

- ・ [サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は FPS (Fiveyear_ParticleSize)
(例) AKSFPS0000001: 厚岸サイト (AKS) の 5 年毎調査の底質粒度調査 (FPS)

- investigator_id : 調査者番号
 - ・ 沿岸域調査 (アマモ場調査) 調査者データベース (SeagrassbedsDataPackage_ResearcherDB) の番号と対応
- year_collected、start_year_collected、end_year_collected : 調査 (開始、終了) 年
 - ・ 4 桁の整数で表示
- month_collected、start_month_collected、end_month_collected : 調査 (開始、終了) 月
 - ・ 1~2 桁の整数で表示
 - ・ 一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
 - ・ 調査月 (month_collected) が明確でない場合は調査開始月の値で表示
- day_collected、start_day_collected、end_day_collected : 調査 (開始、終了) 日
 - ・ 1~2 桁の整数で表示
 - ・ 一回の調査期間が 1 日の場合は、全て同じ値
 - ・ 調査日 (day_collected) が明確でない場合は調査開始日の値で表示
- time_of_day、start_time_of_day、end_time_of_day : 調査 (開始、終了) 時間
 - ・ 24 時間で表示
- time_zone : 標準時
 - ・ ±hh:mm で表示
- area : エリア
 - ・ 調査エリア名の略号を表示 (厚岸と大槌サイトのみ)
 - ・ 厚岸 (アイニンカップ = AIN、厚岸湖 = AKS) 、大槌 (吉里吉里 = KRK、根浜 = NHM)
- station_number : 調査地点番号
 - ・ 1~13 の整数で表示
- core_number : コア番号
 - ・ 1~5 の整数で表示
- vegetation_zone : 植生帯
 - ・ 調査帯の植生

● **particale_size** : 粒径 (μm)

- ・底質の粒径区分 (篩法による分析)
 - >4000 : 4mm 目合い篩に残った粒子
 - ~2000 : 4mm 目合い篩を通過し、2mm 目合い篩に残った粒子
 - ~1000 : 2mm 目合い篩を通過し、1mm 目合い篩に残った粒子
 - ~500 : 1mm 目合い篩を通過し、0.5mm 目合い篩に残った粒子
 - ~250 : 0.5mm 目合い篩を通過し、0.25mm 目合い篩に残った粒子
 - ~125 : 0.25mm 目合い篩を通過し、0.125mm 目合い篩に残った粒子
 - ~63 : 0.125mm 目合い篩を通過し、0.063mm 目合い篩に残った粒子
 - <63 : 0.063mm 目合い篩を通過した粒子

● **weight** : 重量 (g)

- ・小数点以下第 3 位まで表示
- ・各粒径区分に含まれる重量

● **weight_percentage** : 重量パーセント (%)

- ・小数点以下第 1 位まで表示

● **remarks** : 調査 (地点) の備考

- ・調査や調査地点に関する備考

● **source** : レコードの出典

- ・データの出典元に関する情報

(例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域 (磯・干潟・アマモ場・藻場)
調査報告書

※データがない (欠測値、該当なし等) 場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない (未確定、異常値等) 場合は「na」とした。

④ 海草押し葉標本に関するデータ

データ構造

- ・行頭に「#」がついている行は、データファイルの概要 (メタデータ)、データ項目、注釈です。

データ本体の説明

● **catalog_number** : カタログ番号

- ・収集品内のレコード別 ID
- ・[サイトコード+調査名+通し番号]、調査名は FS (Fiveyear_Specimen)
- (例) AKSFS0000001: 厚岸サイト (AKS) の 5 年毎調査の押し葉標本 (FS)

- investigator_id : 調査者番号
 - ・沿岸域調査（アマモ場調査）調査者データベース（SeagrassbedsDataPackage_ResearcherDB）の番号と対応

- year_collected、start_year_collected、end_year_collected : 調査（開始、終了）年
 - ・4桁の整数で表示

- month_collected、start_month_collected、end_month_collected : 調査（開始、終了）月
 - ・1～2桁の整数で表示
 - ・一回の調査期間が1日の場合は、全て同じ値
 - ・調査月（month_collected）が明確でない場合は調査開始月の値で表示

- day_collected、start_day_collected、end_day_collected : 調査（開始、終了）日
 - ・1～2桁の整数で表示
 - ・一回の調査期間が1日の場合は、全て同じ値
 - ・調査日（day_collected）が明確でない場合は調査開始日の値で表示

- time_zone : 標準時
 - ・±hh:mm で表示

- latitude : 緯度、longitude : 経度
 - ・世界測地系 WGS84、10進法、小数点以下第2位まで表示

- family_name : 科名、scientific_name : 学名、japanese_name : 和名
 - ・「Biological Information System for Marine Life : BISMAL」の種名等を参照しています。
 - ・上位分類で同定を留めて表記している場合があります。
 - ・ウミジグサ属及びウミヒルモ属は分類学的な整理が未確定であるため、上位分類群である属で同定を留めて表記しています。

- specimen_number : 標本番号
 - ・標本番号

- identified_by : 同定者
 - ・同定者の氏名

- year_identified : 同定年
 - ・4桁の整数で表示
 - ・同定年が明確でない場合は採集年（year_collected）の値で表示

● remarks_on_identification : 同定の備考

- ・ 出現種の同定に関する備考

● collector : 採集者

- ・ 採集者の氏名

● locality : 採集場所

- ・ 採集された場所の都道府県および市町村名

● source : レコードの出典

- ・ データの出典元に関する情報

(例) 平成 23 年度重要生態系モニタリング推進事業沿岸域 (磯・干潟・アマモ場・藻場)
調査報告書

※データがない (欠測値、該当なし等) 場合は「nd」、データはあるが何らかの理由で利用できない (未確定、異常値等) 場合は「na」とした。

V. 参考情報

モニタリングサイト 1000 ウェブサイト

<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>

モニタリングサイト 1000 沿岸域調査（磯・干潟・アマモ場・藻場）調査マニュアル

<https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>

Biological Information System for Marine Life (BISMaL)

<https://www.godac.jamstec.go.jp/bismal/j/>

藻場の復元に関する配慮事項

http://assess.env.go.jp/files/0_db/seika/0093_01/7.pdf#search=%27%E8%97%BB%E5%A0%B4%E5%BE%A9%E5%85%83%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E9%85%8D%E6%85%AE%27

作成 2023年 10月

編集・発行

環境省自然環境局生物多様性センター

担当：保全科

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾5597-1

Tel : 0555-72-6033

E-mail : biodic_webmaster@env.go.jp

URL: <https://www.biodic.go.jp/>

事務局

特定非営利活動法人 日本国際湿地保全連合

〒103-0011 東京都中央区日本橋大塚馬町 17-1

城野ビル II 2F

Tel : 03-5614-2150 FAX : 03-6806-4187

URL: <https://japan.wetlands.org/ja/>